

短期リワークプログラム

今なら無料！

お早めにお申し込みください

短期リワークプログラムとは？

▶対象：どなたでも

こんな方が利用しています。

- ①メンタル不調でパフォーマンスが落ちている
- ②働きづらいつ感じている
- ③課題を解決したい

▶利用期間：1週間（5日間）

- ①プレ面談・カウンセリング
- ②利用期間中は毎日カウンセリング実施
- ③ポストカウンセリング（随時）

▶費用：10万円

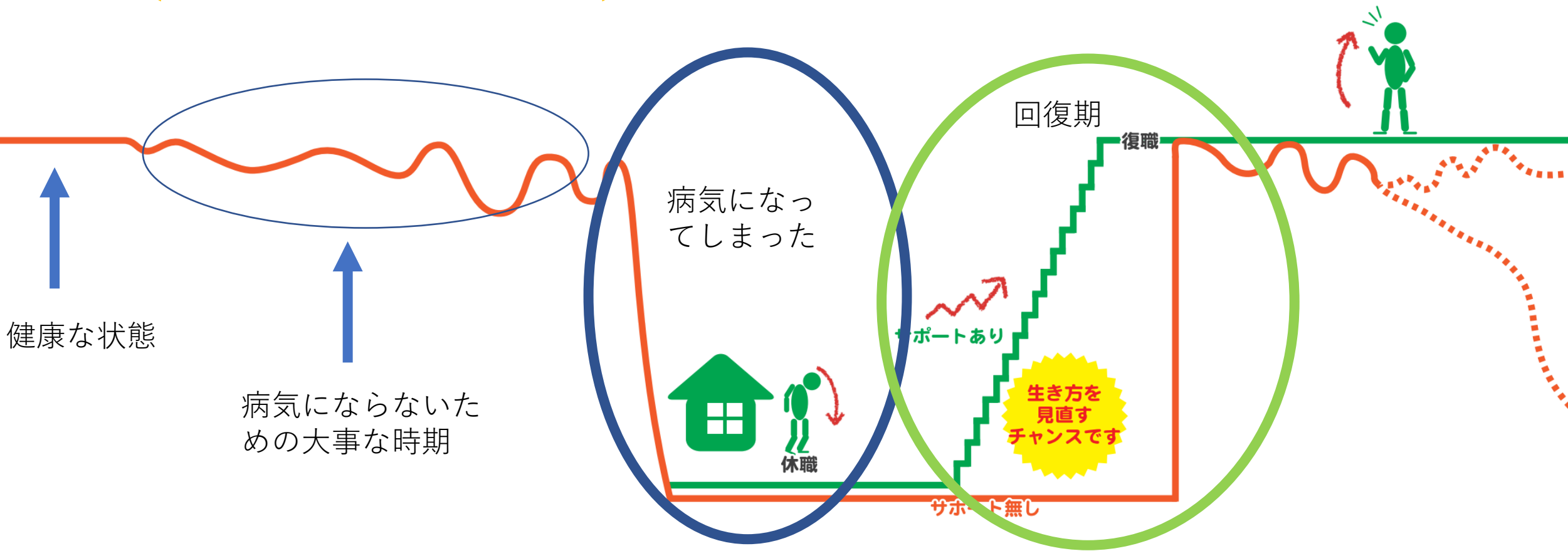


10名限定無料提供中

イメージ図

短期リワークプログラム

リワークプログラム



健康な状態

病気にならないための大事な時期

病気になってしまった

休職

回復期

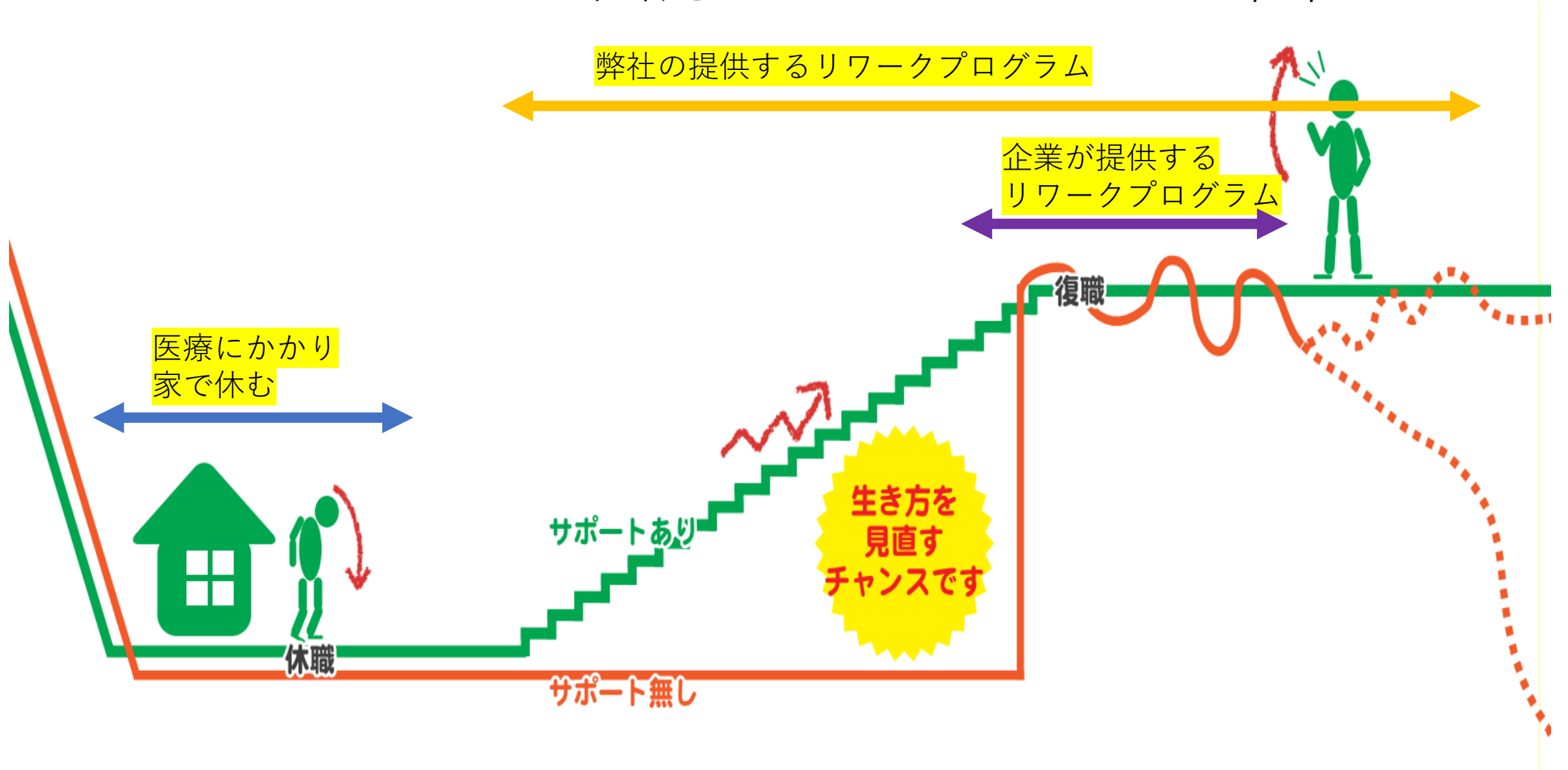
復職

サポートあり

生き方を見直す
チャンスです

サポート無し

メンタル不調からのイメージ図



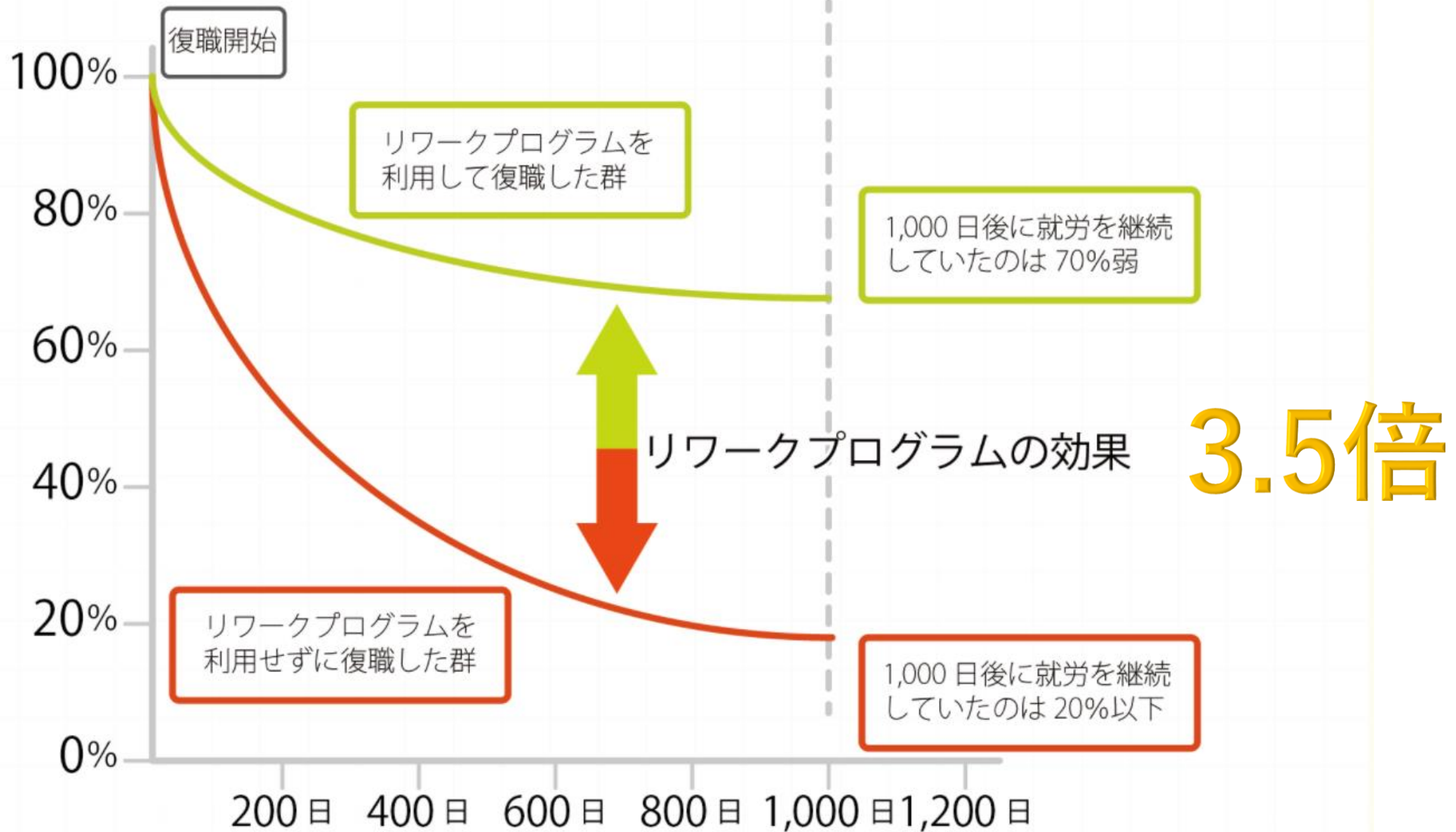
リワークプログラムとは
リハビリテーション

- 復職：元の居場所に戻る
- 転職：居場所を変える

プログラムの違い

	短期リワークプログラム	リワークプログラム
目的	職場での課題解決	復帰のためのリハビリテーション
対象者	どなたでも	メンタル不調で医療受診している 休職中・退職後
利用期間	1週間	3ヶ月～2年
カウンセリング	毎日	随時
費用	自費10万円／回	無料～9,300円／月
企業・団体負担	自費10万円／回	なし

職場定着率



(五十嵐良雄:ヒューマンキャピタルOnline「復職した社員が再休職してしまう!職場に戻す時期をどう判断する?」を基に、復職1,000日後の定着率が視覚的に伝わるよう作図)

<<https://project.nikkeibp.co.jp/atclhco/051500046/051500002/?P=3>> (参照 2020-05-08)

●4つの「リワーク」とその違い:

治療と再休職予防を目的としているのは医療リワークだけ

	実施機関	費用	対象	主な目的
医療リワーク	医療機関	健康保険	休職者	精神科治療 再休職予防
職リハ リワーク	障害者 職業センター	労働保険	休職者 事業主	支援プランに 基づく支援
福祉リワーク	障害福祉施設	障害福祉施策	失職者 事業主	主として 障害者雇用
職場リワーク	企業内、EAPなど	企業負担	休職者	労働させて良いか を見きわめる

企業に勤める会社員は、うつの治療と再休職予防を目的としている医療リワークを早期から利用すべきです（出所：一般社団法人 東京リワーク研究所）